

# 「感情を扱える社会宣言」

## 実践パートナー制度 概要資料

感情を我慢する社会から、感情を活かせる社会へ

スポーツ・企業・教育の現場から、感情を扱える組織の実装モデルを募集します。

本資料は、一般社団法人日本アンガーマネジメント協会が提唱する「感情を扱える社会宣言」に基づき、具体的な行動を通じて組織・社会の変革を共に推進していただく「実践パートナー」の活動内容、参加条件および特典についてまとめたものです。

### 1. 宣言の背景と目的

当協会が昨年実施した「怒りの実態調査」では、現在の日本において、怒りを表に出さずに「我慢する人」が54%、怒りやストレスによって健康被害を訴える人が53.8%にのぼる実態が明らかになりました。

感情を我慢することが当たり前になり、感情を押し殺す文化が定着した結果、怒りや対立の連鎖、心身の不調を招いているのが現状です。

当協会は、このような「感情を我慢する社会」「感情を抑え込む社会」から、感情を正しく理解し、適切に扱い、個々のパフォーマンスや心の健康に活かせる社会への転換を目指しています。

2026年5月11日、日本アンガーマネジメント協会は、教育・スポーツ・ビジネスの各分野において、感情マネジメントの重要性を提唱する「感情を扱える社会宣言」を発表しました。

### 2. 「実践パートナー」とは

実践パートナーとは、宣言の趣旨に賛同するだけでなく、自らの組織内でアンガーマネジメントの具体的なアクションを継続的に実行し、その成果を社会に発信していく企業・団体です。

応募対象は、日本国内に拠点を置く以下の団体です。

- 企業
- 法人
- 行政機関
- 教育機関（学校など）
- スポーツ団体など

規模や業種は問いません。地方からの応募も歓迎します。

ただし、対面講座に参加する場合の交通費等は自己負担となります。

#### 賛同企業との違い

- **賛同企業・団体**： 宣言の趣旨に名前を連ね、社会的な支持を表明する
- **実践パートナー**： 組織内で具体的なワークや啓蒙活動を行い、実質的な組織変革に取り組む

## 3. 具体的な活動内容

---

実践パートナーには、主に以下の3つのアクションへの取り組みをお願いしています。

### ① 講座受講・資格取得

貴組織の担当者1名に「アンガーマネジメントファシリテーター養成講座」を受講いただき、資格を取得していただきます。受講形式は、以下のいずれかを選択可能です。

- **【選択肢A】対面講座（2日間集中コース）**
  - 日程：
    - ・2026年8月1日（土）・2日（日）：東京会場
    - ・2026年9月5日（土）・6日（日）：福岡会場
    - ・2026年9月12日（土）・13日（日）：東京会場
  - **特徴**：短期集中で、講師や他の受講生とリアルに交流しながら深く学べます。
  - ※当日は、本プロジェクトの社会的発信（プレスリリースやメディア取材、事務局による記録撮影等）を目的としたカメラ撮影や取材が入る可能性があります。
  - → [2日間対面講座の特徴と受講の流れはこちら](#)
- **【選択肢B】オンライン講座（事前学習+ライブ授業）**
  - オンラインライブ授業日：
    - ・2026年8月27日（木）
    - ・2026年9月12日（土）
  - **特徴**：場所を選ばず受講可能。ライブ授業前に、約2～3週間ほどのビデオ

講義による事前学習（eラーニング）期間があります。

- ※：オンライン画面のスクリーンショット撮影や、一部インタビュー取材などのご協力をお願いする場合があります。
- → [オンライン講座の特徴と受講の流れはこちら](#)

### 【資格取得までの流れ】

1. 講座の受講（上記AまたはBのいずれか）
2. 認定試験の受験（オンラインにて実施）
3. 合格・資格取得（アンガーマネジメントファシリテーターとして活動開始）

※詳細なカリキュラム等は [こちらの公式ページ](#) をご確認ください。

## ② 現場実践

資格取得後、実際に自社の課題解決に向けた取り組みとして、**貴組織（自組織内）にて「アンガーマネジメントの講座」（受講人数は5～10名程度からでも可）を実施**していただきます。

開催にあたっては、当協会講師・事務局がサポートいたします。

※当日は、本プロジェクトの社会的発信（プレスリリースやメディア取材、事務局による記録撮影等）を目的としたカメラ撮影や取材が入る可能性があります。

## ③ 取材・発信協力

「感情を扱える組織の実装モデル」として社会へ伝えるため、実践内容のレポート、写真撮影、インタビュー等の取材、および一定範囲での事例公開にご協力いただきます。

## 4. 参画メリットとパートナー限定特典

---

協会は、実践パートナーの活動を支援するため、以下の特典を提供します。

1. **アンガーマネジメントファシリテーター養成講座への無償招待**  
組織内のリーダー1名を、アンガーマネジメントファシリテーター養成講座（通常有料）に無償招待します。
2. 「**宣言実践パートナー**」公式ロゴの使用権

名刺、Webサイト、採用媒体、プレスリリース等で利用できます。

「感情を大切に作る組織」としてのブランディングに寄与します。

### 3. 協会公式メディアでの紹介

協会の特設サイトやSNS、ニュースレター等を通じて、パートナー企業の取り組み事例を全国に発信します。

### 4. 当協会よりインタビュー記事の展開

貴組織の取り組みについてインタビューを実施し、協会公式ホームページへの掲載や、SNS等を通じて広く社会へ発信・展開します。

## 5. 募集要項

---

今回の募集では、「自組織の変化を通じて、社会にポジティブな影響を与えられるか」を重視して選定を行います。

### ■必須条件

- 「感情を扱える社会宣言」の趣旨に賛同していること
- 担当者1名が「アンガーマネジメントファシリテーター養成講座」を無償受講・修了できること
- 資格取得後、自組織内でアンガーマネジメントの活用・導入に取り組めること
- メディアやWebサイト等での取材協力が可能であること
- 具体的な実践内容や成果について、一定範囲で外部公開に協力できること

### ■歓迎条件

- SNS、オウンドメディア、プレスリリースなどを活用した発信力がある
- 同業界や他団体への波及効果が見込める
- 解決したい組織課題が明確である（例：社内コミュニケーション、ハラスメント対策、スポーツ・部活動における指導課題など）
- 単発で終わらせず、中長期で継続的に実践する意志がある
- 社内外への積極的な情報発信に協力的である

## 6. 募集概要と費用負担

---

募集団体数：3団体（選考あり）

応募期間：2026年6月23日（火）～ 2026年7月15日（水）

実践パートナー活動期間：2026年7月下旬～2027年3月31日（予定）

費用負担：本プロジェクトの実践パートナーに選定された団体については、各団体1名を対象に、アンガーマネジメントファシリテーター（AMFT）養成講座の受講および資格取得に関わる初期費用をすべて無償とします。

※翌年度（27年4月以降）も資格継続していただける場合、AMFT資格更新費用 13,200円〔（税込）/人〕が発生します。

区分	対象項目
当協会が提供（無償）	・ AMFT養成講座 受講料（税込143,000円） ・ 資格認定料（税込33,000円） ・ 初年度入会金（税込11,000円）
実践パートナー様ご負担	・ 講座受講や実践に伴う交通費・通信費等 ・ 次年度以降のAMFT資格更新費用（13,200円/人・税込）※資格を継続される場合 ・ 任意で上位資格を取得される場合の受講料（各資格の規定通り）

※本費用は、資格取得後に「感情を扱える組織の実装モデル」として、現場で実践いただき、今後の取材や事例公開に継続的に協力いただくことを前提とします。

※AMFT養成講座受講要件・AMFT認定要件は[こちら](#)をご確認ください

## 7. 応募から開始までの流れ

- 2026年6月23日～7月15日：実践パートナー募集期間
- 7月15日～下旬：応募団体様との個別打合せ
- 7月下旬～8月上旬：実践パートナー決定
- 8月中旬～：活動開始（9月以降の講座受講に向けての手続き等）

応募は、[専用のフォーム](#)で受け付けます。

応募フォームURL、QRコード・問い合わせ先メールアドレス、担当窓口名記載

※フォームでは、組織概要のほか、以下の内容についてご回答をいただきます。

1. 現在抱えている組織のコミュニケーションやハラスメントに関する課題
2. 本プロジェクトを通じて、社内外へどのように発信・波及させていきたいか

**本件に関するお問い合わせ先**

一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会事務局

「感情を扱える社会宣言」実践パートナー募集係

MAIL : pr@angermanagement.co.jp